

I.

日本郵政グループの概要

I N D E X

1. 日本郵政グループについて

- (1) 日本郵政グループの構成 8
- (2) 全国に広がる郵便局ネットワーク 8

2. 日本郵政グループ トピックス2014

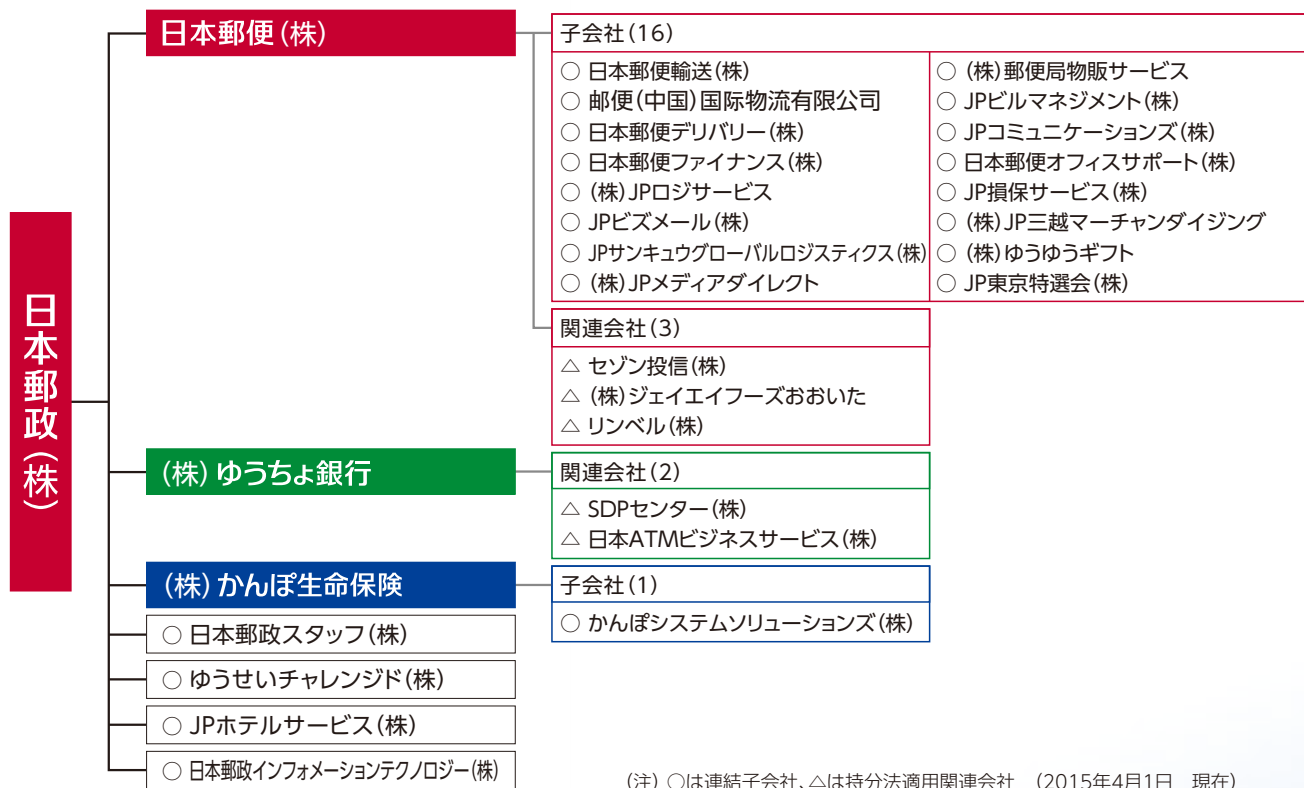
- 日本郵政グループ トピックス2014 10

3. 日本郵政グループ 財務の概要

- 1 日本郵政グループ 連結決算の概要 16
- 2 日本郵政(株) 決算の概要 17
- 3 日本郵便(株) 決算の概要 18
- 4 (株) ゆうちょ銀行 決算の概要 19
- 5 (株) かんぽ生命保険 決算の概要 19

1. 日本郵政グループについて

(1) 日本郵政グループの構成



(2) 全国に広がる郵便局ネットワーク

郵便局は、1,741すべての市町村※に計24,470カ所あり、日本全国を網羅しています。これらの郵便局は、日本郵政グループがお届けする郵便・貯金・保険などいろいろなサービスの拠点となっており、これまで長い間地域に密着した存在として、皆さまに愛されてまいりました。

日本郵政グループは、今後とも郵便局を郵便・貯金・保険のサービスがあまねく全国において一体的にご利用いただける拠点としながら、郵便局を活用した便利な新サービスを地域の皆さまにお届けしてまいります。

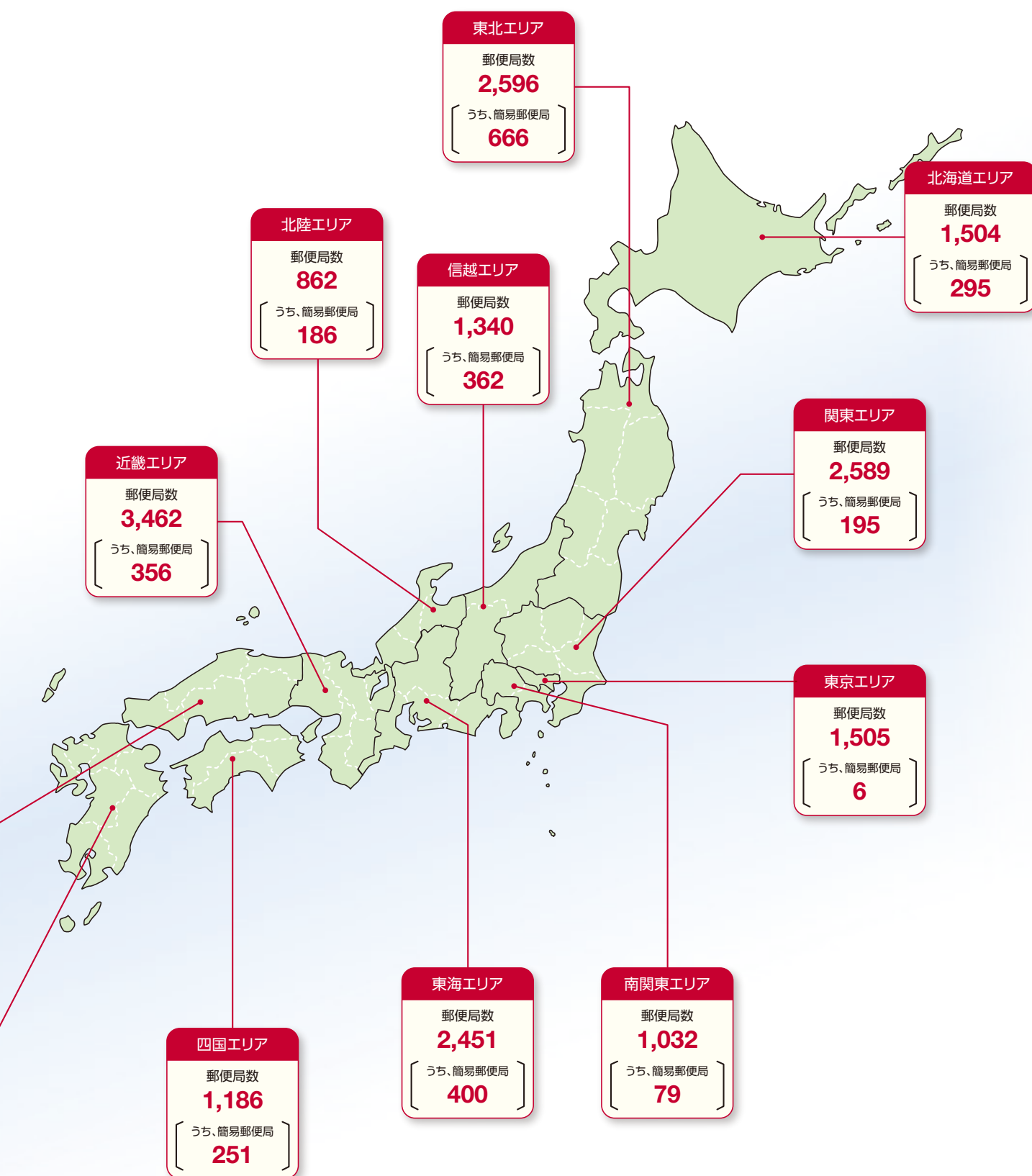
※：東京都の特別区(23)を含みます。(2014年4月5日現在)

■ 全国の郵便局数(2015年3月末現在)

直営郵便局(分室を含む)	20,187局
簡易郵便局	4,283局
合計	24,470局

※一時閉鎖中の直営郵便局70局、簡易郵便局218局が含まれています。





2. 日本郵政グループ トピックス2014

2014年(平成26年)

2015年(平成27年)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

2014年
(平成26年) 4月1日

「日本郵政グループ女子陸上部」創部

日本郵政グループ創業以来初の実業団チームとなる「日本郵政グループ女子陸上部」を創部しました。



選手10名体制(2015年4月1日現在)



ユウチョッキーと仲間たち

2014年
(平成26年) 4月～7月

サッカー大会の協賛権を活用したプロモーション展開

サッカー大会の協賛権を活用し、オリジナルキャラクター「ユウチョッキーと仲間たち」を使って、若年層の利用率が高いFacebookやLINEを通じたプロモーションを展開しました。また、サッカー大会の開催時期に合わせ、ゆうちょ銀行・郵便局に大会公式ボールのレプリカを展示するほか、全国の小学校や児童養護施設等にサッカーボールを贈りました。

2014年
(平成26年) 4月2日～5月30日

「はじめのかんぽ」キャンペーンの実施

2014年4月2日から全国で発売した学資保険「はじめのかんぽ」を多くのお客さまに知っていただくため、期間中に保障設計書を作成いただいたお客さまに「ひよこオリジナルグッズ」などをプレゼントするキャンペーンを実施しました。



はんこケース



ひよこコップ



2014年
(平成26年) 5月29日～8月22日

「かもめ〜る」販売

2014年の夏のおたより郵便はがき「かもめ〜る」は、無地のほか「花火」をデザインした「絵入り(富士山と花火)」と、はがき全体に淡い色合いで涼しげに泳ぐ「金魚」をデザインした「絵入り(金魚と風鈴)」の2種類を販売しました。

2014年(平成26年)

2015年(平成27年)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

2014年
(平成26年) 6月23日～

「トークン(ワンタイムパスワード生成機)」の無料配布を開始

インターネットサービス「ゆうちょダイレクト」において、不正アクセスによる犯罪からお客さまの大切な財産をお守りするため、「トークン(ワンタイムパスワード生成機)」の無料配布を開始しました。



2014年
(平成26年) 7月3日～

企業広告「夢だらけ。キャラバン」の開始

日本全国の、「夢」を持ってイキイキと輝きながら働いている日本郵政グループ社員やそのご家族を企業広告の出演者として紹介しています。

2014年
(平成26年) 7月4日～8月31日

「ふなっしーフレーム切手 バースデーセット」販売

7月4日の「ふなっしーの誕生日」を記念したオリジナルフレーム切手セットを「郵便局のネットショップ」限定で販売しました。



©ふなっしー



©KIYOHICO AZUMA/YOTUBA SUTAZIO

2014年
(平成26年) 7月18日～

「ゆうパックダンボー・ミニ」販売

日本郵便初のライセンスビジネスとして「ゆうパック」のロゴやデザインをモチーフにした人形玩具「ゆうパックダンボー・ミニ」を、一部の郵便局および「郵便局のネットショップ」で販売しました。

2014年(平成26年)



2015年(平成27年)

2014年
(平成26年) 8月3日

1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭

「第53回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を兵庫県神戸市で開催しました。



2014年
(平成26年) 8月3日～8月9日

「第38回全日本少年サッカー大会」への協賛

サッカーを通じた子どもたちの健全な心身の育成・発達を支援するため、「第38回全日本少年サッカー大会」に協賛しました。8月3日～8月9日には、静岡県御殿場高原時之栖(ときのすみか)において、全国大会が開催されました。

2014年
(平成26年) 8月25日～9月8日

「クックパッド ヘルシーカフェレシピコンテスト」の実施

「食」を通じた健康づくりをテーマに、レシピ投稿サイトのクックパッドとタイアップし、2回目となるヘルシーカフェレシピコンテストを実施しました。受賞メニューは、11月に開催した期間限定のイベント「かんぽ Healthy Café」でメニュー化しました。



2014年
(平成26年) 9月26日

**日本郵便と仏ジオポストおよび
香港レントングループとの資本・業務提携**

日本郵政グループ初の海外企業への出資案件となる、日本郵便・ジオポスト・レントングループの3社による資本・業務提携に合意しました。

2014年(平成26年)

2015年(平成27年)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

2014年
(平成26年) 10月1日～

がん保険新商品(JPオリジナルプラン)の取り扱い開始

業務提携先であるアフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)が日本郵政グループ向けに開発した新たながん保険の販売を開始しました。



アフラックがん保険取り扱い開始セレモニー(2014年7月22日)



2014年
(平成26年) 10月29日

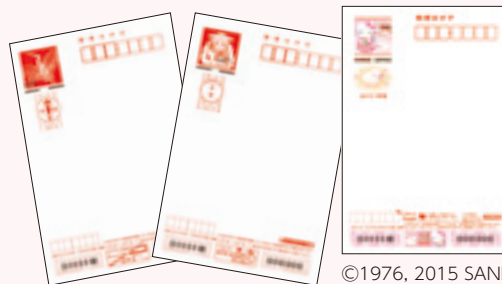
「第1回全国小学校ラジオ体操コンクール」入賞チームの決定

多くの小学生の皆さまに、元気にラジオ体操をしていただく機会を増やし、健康増進に貢献することを目的として、2014年度から新たに開始しました。

2014年
(平成26年) 10月30日～1月9日

年賀はがき販売

2015年用年賀はがきは、無地のほか、日本郵便が発行する郵便はがきとして初めてデジタルコンテンツが楽しめるAR機能を付けた「ハローキティ年賀」などを販売しました。



©1976, 2015 SANRIO CO.,LTD.
APPROVAL No. G560209



ゆうちょATM設置披露会(2014年11月26日)

2014年
(平成26年) 11月4日～

ファミリーマートにゆうちょATM設置

首都圏、関西圏のファミリーマート約500店に、ゆうちょATMを順次設置しました。

2014年
(平成26年) 11月4日～

企業広告「人生は、夢だらけ。」第2弾の全国展開開始

能年玲奈さんを起用した新テレビCM「いいこと」篇、「ドジ」篇の放送、グラフィック広告、Webサイトによる企業広告の全国展開を開始しました。



企業CM「いいこと」編

2014年(平成26年)

2015年(平成27年)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

2014年
(平成26年) 12月3日

「ゆうちょアイデア貯金箱コンクール」審査結果発表

第39回「ゆうちょアイデア貯金箱コンクール」の各賞受賞者を決定、発表しました。少子化により児童数が減少しているなか、昨年度より1万点以上も多い823,919点の応募を小学生からいただきました。



文部科学大臣奨励賞
「地球の仲間たち」



ゆうちょ銀行賞
「黒田官兵衛貯金箱」



©L5/YWP-TX

2014年
(平成26年) 12月18日

「妖怪ウォッチ プレミアムフレーム切手セット」販売

テレビアニメ「妖怪ウォッチ」キャラクターのフレーム切手、シールコレクション、ポストカードを、シールポケット付きホルダーに収納したフレーム切手セットを販売しました。

2015年
(平成27年) 1月1日

年賀郵便物の配達

元旦に全国で18億1,000万通の年賀郵便物をお届けしました。



2015年
(平成27年) 1月13日～3月20日

「ドリームかんぽキャンペーン2015」の実施

期間中にかんぽ生命の「保障設計書(ご提案書)」を作成し、懸賞にご応募いただいたお客さまのなかから抽せんで賞品が当たるキャンペーンを実施しました。



2014年(平成26年)

2015年(平成27年)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

2015年
(平成27年) 2月2日～

新デザインの普通切手発行

普通切手のデザインの統一性を図るため、新たなデザインの普通切手(12券種)を発行しました。デザインテーマは「日本の自然」とし、1円切手には「日本近代郵便の父」と呼ばれている「前島密」の肖像を引き続き採用しました。



かんぽ キッズスマイルワールド®の模様

2015年
(平成27年) 2月7日・8日

「かんぽ キッズスマイルワールド®」の開催

子育て支援をテーマにした親子で楽しむイベント「かんぽ キッズスマイルワールド®」を石川県かほく市のイオンモールかほくで開催しました。

2015年
(平成27年) 3月2日～

日本郵政グループ広告の全国展開開始

窪田正孝さんを起用し、テレビ、交通、新聞、Webサイト、店頭ポスターなどによるグループ広告の全国展開を開始しました。



日本郵政グループ広告 Webサイト
<http://www.jp-message.japanpost.jp/>



2015年
(平成27年) 3月21日～

企業CM「ゆうちょ通り一丁目の人々」がスタート

ゆうちょ初の企業CMとなる「ゆうちょ通り一丁目の人々」がスタートしました。

3. 日本郵政グループ 財務の概要

1 日本郵政グループ 連結決算の概要 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

日本郵政グループの平成27年3月期は、連結経常利益1兆1,158億円、連結当期純利益4,826億円、連結総資産295兆8,497億円、連結純資産15兆3,015億円となりました。

①経営成績 (平成27年3月期)

	日本郵政グループ	日本郵政	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命保険
経常収益	14兆2,588億円	2,553億円	2兆8,403億円	2兆781億円	10兆1,692億円
経常利益	1兆1,158億円	1,492億円	220億円	5,694億円	4,931億円
当期純利益	4,826億円	1,311億円	154億円	3,694億円	817億円

<参考> 前期 (平成26年3月期)

経常収益	15兆2,401億円	2,763億円	2兆7,924億円	2兆763億円	11兆2,339億円
経常利益	1兆1,036億円	1,478億円	525億円	5,650億円	4,635億円
当期純利益	4,790億円	1,550億円	329億円	3,546億円	634億円

注：億円未満の計数は切り捨てております。また、連結合計値と、単体計数の合算値とは、他の連結処理のため一致しません。

平成27年3月期における主要4社の経営成績は、上表のとおりです。また、子会社および関連会社との連結当期純利益は、4,826億円となりました。

②財政状態 (平成27年3月期)

	日本郵政グループ	日本郵政	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命保険
総資産	295兆8,497億円	9兆1,071億円	5兆4,419億円	208兆1,793億円	84兆9,119億円
負債	280兆5,482億円	3,627億円	4兆4,632億円	196兆5,490億円	82兆9,428億円
純資産	15兆3,015億円	8兆7,444億円	9,787億円	11兆6,302億円	1兆9,691億円

<参考> 前期 (平成26年3月期)

総資産	292兆2,464億円	9兆7,401億円	4兆8,017億円	202兆5,128億円	87兆886億円
負債	278兆8,577億円	1兆207億円	4兆2,407億円	191兆483億円	85兆5,541億円
純資産	13兆3,886億円	8兆7,193億円	5,609億円	11兆4,645億円	1兆5,344億円

注：億円未満の計数は切り捨てております。また、連結合計値と、単体計数の合算値とは、他の連結処理のため一致しません。

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3兆6,033億円増加し、295兆8,497億円となりました。このうち、有価証券が222兆5,939億円、貸出金は12兆7,613億円となりました。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1兆6,904億円増加し、280兆5,482億円となりました。このうち、貯金は175兆6,971億円、保険契約準備金は77兆9,056億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末13兆3,886億円から剰余金の配当435億円を除き、当期純利益（連結）4,826億円などを加えた結果、15兆3,015億円となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は4兆3,892億円となりました。

また、当連結会計年度末における連結自己資本比率（国内基準）は、40.40%となりました。

③平成27年3月期の連結業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

■連結経営成績

経常収益 平成27年3月期 14,258,842 百万円 平成26年3月期 15,240,126 百万円		経常利益 平成27年3月期 1,115,823 百万円 平成26年3月期 1,103,603 百万円		当期純利益 平成27年3月期 482,682 百万円 平成26年3月期 479,071 百万円	
1株当たり当期純利益 平成27年3月期 3,217円88銭 平成26年3月期 3,193円81銭		潜在株式調整後1株当たり当期純利益(注) 平成27年3月期 —円—銭 平成26年3月期 —円—銭			
自己資本当期純利益率 平成27年3月期 3.4% 平成26年3月期 3.7%		総資産経常利益率 平成27年3月期 0.4% 平成26年3月期 0.4%		経常収益経常利益率 平成27年3月期 7.8% 平成26年3月期 7.2%	

<参考> 持分法投資損益：平成27年3月期 △561百万円 平成26年3月期 12百万円

注：「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

■連結財政状態

総資産 平成27年3月期 295,849,794 百万円 平成26年3月期 292,246,440 百万円		純資産 平成27年3月期 15,301,561 百万円 平成26年3月期 13,388,650 百万円	
自己資本比率(注1) 平成27年3月期 5.2% 平成26年3月期 4.6%		1株当たり純資産 平成27年3月期 101,992円22銭 平成26年3月期 89,247円18銭	連結自己資本比率(国内基準)(注2) 平成27年3月期 40.40% 平成26年3月期 49.23%

注1：「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計—期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

注2：「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第52条の25の規定に基づき、銀行持株会社が銀行持株会社及びその子会社の保有する資産等に照らしそれらの自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第20号)に基づき算出しております。

<参考>

自己資本：平成27年3月期 15,298,833百万円
平成26年3月期 13,387,076百万円

2 日本郵政(株) 決算の概要(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

純粋持株会社としての機能のほか、病院事業、宿泊事業およびグループ共通事務の受託などにより、経常収益2,553億円、経常利益1,492億円、当期純利益1,311億円となりました。

■経営成績

営業収益 平成27年3月期 251,919 百万円 平成26年3月期 272,988 百万円		営業利益 平成27年3月期 147,187 百万円 平成26年3月期 146,002 百万円		経常利益 平成27年3月期 149,298 百万円 平成26年3月期 147,837 百万円		当期純利益 平成27年3月期 131,181 百万円 平成26年3月期 155,090 百万円	
1株当たり当期純利益 平成27年3月期 874円55銭 平成26年3月期 1,033円94銭		潜在株式調整後1株当たり当期純利益(注) 平成27年3月期 —円—銭 平成26年3月期 —円—銭					
自己資本当期純利益率 平成27年3月期 1.5% 平成26年3月期 1.8%		総資産経常利益率 平成27年3月期 1.6% 平成26年3月期 1.5%		営業収益営業利益率 平成27年3月期 58.4% 平成26年3月期 53.5%			

注：「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

■財政状態

総資産 平成27年3月期 9,107,178 百万円 平成26年3月期 9,740,129 百万円		純資産 平成27年3月期 8,744,456 百万円 平成26年3月期 8,719,384 百万円	
自己資本比率 平成27年3月期 96.0% 平成26年3月期 89.5%		1株当たり純資産 平成27年3月期 58,296円38銭 平成26年3月期 58,129円23銭	<参考> 自己資本：平成27年3月期 8,744,456百万円 平成26年3月期 8,719,384百万円

3 日本郵便(株) 決算の概要 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

郵便・物流事業については、総取扱物数が、220億3,562万通(個)(うち、郵便物181億8,863万通、ゆうパック4億8,504万個、ゆうメール33億6,194万個)となりました。ゆうパック・EMSの増により営業収益は増加に転じたものの、人件費・経費が増加した結果、営業利益は前期比減となり、営業収益1兆8,239億円、営業損失103億円となりました。

金融窓口事業については、新規事業の収益拡大や人件費の減少により、営業収益1兆1,840億円、営業利益209億円となりました。

■経営成績

営業収益 平成27年3月期 2,819,144 百万円 平成26年3月期 2,773,958 百万円		営業利益 平成27年3月期 10,650 百万円 平成26年3月期 46,999 百万円		経常利益 平成27年3月期 22,010 百万円 平成26年3月期 52,532 百万円		当期純利益 平成27年3月期 15,423 百万円 平成26年3月期 32,911 百万円	
1株当たり当期純利益 平成27年3月期 2,200円79銭 平成26年3月期 8,227円87銭		潜在株式調整後1株当たり当期純利益(注) 平成27年3月期 －円－銭 平成26年3月期 －円－銭		自己資本当期純利益率 平成27年3月期 2.3% 平成26年3月期 6.0%		総資産経常利益率 平成27年3月期 0.4% 平成26年3月期 1.1%	
営業収益営業利益率 平成27年3月期 0.4% 平成26年3月期 1.7%							

注：「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

■財政状態

総資産 平成27年3月期 5,441,962 百万円 平成26年3月期 4,801,764 百万円		純資産 平成27年3月期 978,711 百万円 平成26年3月期 560,972 百万円	
自己資本比率 平成27年3月期 18.0% 平成26年3月期 11.7%	1株当たり純資産 平成27年3月期 97,871円11銭 平成26年3月期 140,243円06銭	<参考> 自己資本：平成27年3月期 978,711百万円 平成26年3月期 560,972百万円	

■事業セグメント別の経営成績

[郵便・物流事業セグメント]

営業収益 平成27年3月期 1,823,902 百万円 平成26年3月期 1,777,635 百万円		営業利益 平成27年3月期 △10,319 百万円 平成26年3月期 9,454 百万円	
---	--	---	--

[金融窓口事業セグメント]

営業収益 平成27年3月期 1,184,044 百万円 平成26年3月期 1,183,528 百万円		営業利益 平成27年3月期 20,969 百万円 平成26年3月期 37,545 百万円	
---	--	---	--

4 (株) ゆうちょ銀行 決算の概要 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

郵便局との連携による営業推進態勢の強化により、貯金残高は177兆7,107億円(未払利子を含む貯金残高は179兆95億円)を確保し、経常収益2兆781億円、経常利益5,694億円、当期純利益3,694億円となりました。また、単体自己資本比率(国内基準)は38.42%となりました。

■ 経営成績

経常収益 平成27年3月期 2,078,179 百万円 平成26年3月期 2,076,397 百万円		経常利益 平成27年3月期 569,489 百万円 平成26年3月期 565,095 百万円		当期純利益 平成27年3月期 369,434 百万円 平成26年3月期 354,664 百万円	
1株当たり 当期純利益	平成27年3月期 2,687円63銭 平成26年3月期 2,364円43銭	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益(注)		平成27年3月期 一円一銭 平成26年3月期 一円一銭	
自己資本 当期純利益率	平成27年3月期 3.2% 平成26年3月期 3.1%	総資産 経常利益率	平成27年3月期 0.2% 平成26年3月期 0.2%	経常収益 経常利益率	平成27年3月期 27.4% 平成26年3月期 27.2%

注：「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

■ 財政状態

総資産	平成27年3月期	208,179,309百万円	純資産	平成27年3月期	11,630,212百万円			
	平成26年3月期	202,512,882百万円		平成26年3月期	11,464,524百万円			
自己資本比率	平成27年3月期	5.5%	1株当たり純資産	平成27年3月期	93,054円72銭	単体自己資本比率 (国内基準) (注)	平成27年3月期	38.42%
	平成26年3月期	5.6%		平成26年3月期	76,430円16銭		平成26年3月期	56.81%

注：「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第19号)に基づき算出しております。

<参考>

自己資本：平成27年3月期 11,630,212百万円
平成26年3月期 11,464,524百万円

5 (株) かんぽ生命保険 決算の概要 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

郵便局との連携による営業推進態勢の強化により、個人保険の新契約件数は238万件を確保し、経常収益10兆1,692億円、経常利益4,931億円、当期純利益817億円となりました。また、保険料等収入5兆9,567億円、基礎利益5,154億円、内部留保残高(価格変動準備金、危険準備金)3兆2,108億円、ソルベンシー・マージン比率1,641.4%となりました。

■ 経営成績

経常収益 平成27年3月期 10,169,236 百万円 平成26年3月期 11,233,925 百万円		経常利益 平成27年3月期 493,169 百万円 平成26年3月期 463,506 百万円		当期純利益 平成27年3月期 81,758 百万円 平成26年3月期 63,428 百万円	
1株当たり 当期純利益	平成27年3月期 4,087円92銭 平成26年3月期 3,171円42銭	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益(注)		平成27年3月期 一円一銭 平成26年3月期 一円一銭	
自己資本 当期純利益率	平成27年3月期 4.7% 平成26年3月期 4.2%	総資産 経常利益率	平成27年3月期 0.6% 平成26年3月期 0.5%	経常収益 経常利益率	平成27年3月期 4.8% 平成26年3月期 4.1%

注：「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

■ 財政状態

総資産	平成27年3月期 84,911,946百万円 平成26年3月期 87,088,626百万円	純資産	平成27年3月期 1,969,143百万円 平成26年3月期 1,534,457百万円
自己資本 比率	平成27年3月期 2.3% 平成26年3月期 1.8%	1株当たり 純資産	平成27年3月期 98,457円19銭 平成26年3月期 76,722円86銭
<参考> 自己資本：平成27年3月期 1,969,143百万円 平成26年3月期 1,534,457百万円			